

+ SUPPORT

サポ キャラ 催眠 調教

— 他人のサポキャラ催眠調教



Presented by Nanatsu no kagiana
Artist is Satoshi Nanakagi
Fate/GO Fanbook



前書き+注意

ども、七鍵智志です。
この本をお手にとって頂きありがとうございます。

今回の本は他人のサポートサーヴァントに令呪が使える
という素敵設定を使ったお話になります。
その為軽度の寝取り要素を含みますので少しでも寝取られが
苦手な方は少々厳しいかもしれません。
ただ私自身が重度の寝取られは苦手、でも寝取りは大丈夫
という性質の為、寝取りと寝取られるの区別がついている方
なら大丈夫だとは思いますがー。

それではそこら辺を踏まえ今回の作品
お楽しみくださいませ(・v・)

サーヴァント

コイツ等は基本的に
マスターを裏切らない



マスターのことが大好きで
ノーマルどころかハードな
SEXだって受け入れる



勿論呼び出したばかりの
頃はその性質上反抗的な
ヤツもいる…



はあ？
なんで私がアンタなんかと
イチャツかなかきゃ
ならないのよ
キモいんですけど

まあそんな反抗的な
奴こそ令呪で縛って
女にさせた時の顔が
堪らないというものだ

ごめ—
ごめんなひや—っ
もう許ひ—
んおおツツ♡♡



またいぐ—ツツ♡
イぐいグイグウウツツ♡♡♡

この世界の令呪は
万能だった

本来別のマスターに従属
している筈のサポート
サーヴァントにすら効くの
だから

例えば本来の主にすら
見せたことがないであろう
格好をさせたり――

おい……っ
こんなを恰好させて……
何のつもりだ……っ

やめ……ろ……っ
く……っ

身体が……
勝手に……っ

強制的に奉仕……
これが王道だ

そんでひとしきり遊んだら
最後の一幕で記憶を消し
主の元に送り返す……
本当に便利なシステムだ

だがそうやって他人の
サバで遊んでいる内に
ある事がわかってきた

こんな…
汚い…モノ…ッ

以外と自分の主にすら
弄ばれていないサバが
ゴマンといたのだ

だが考えてみればその通り…

そこまで考えが及ばない奴
ただ単にいい子ちゃんな奴
果てはそもそもそんな事を
知りもしない子供のマスター
だっているのだから

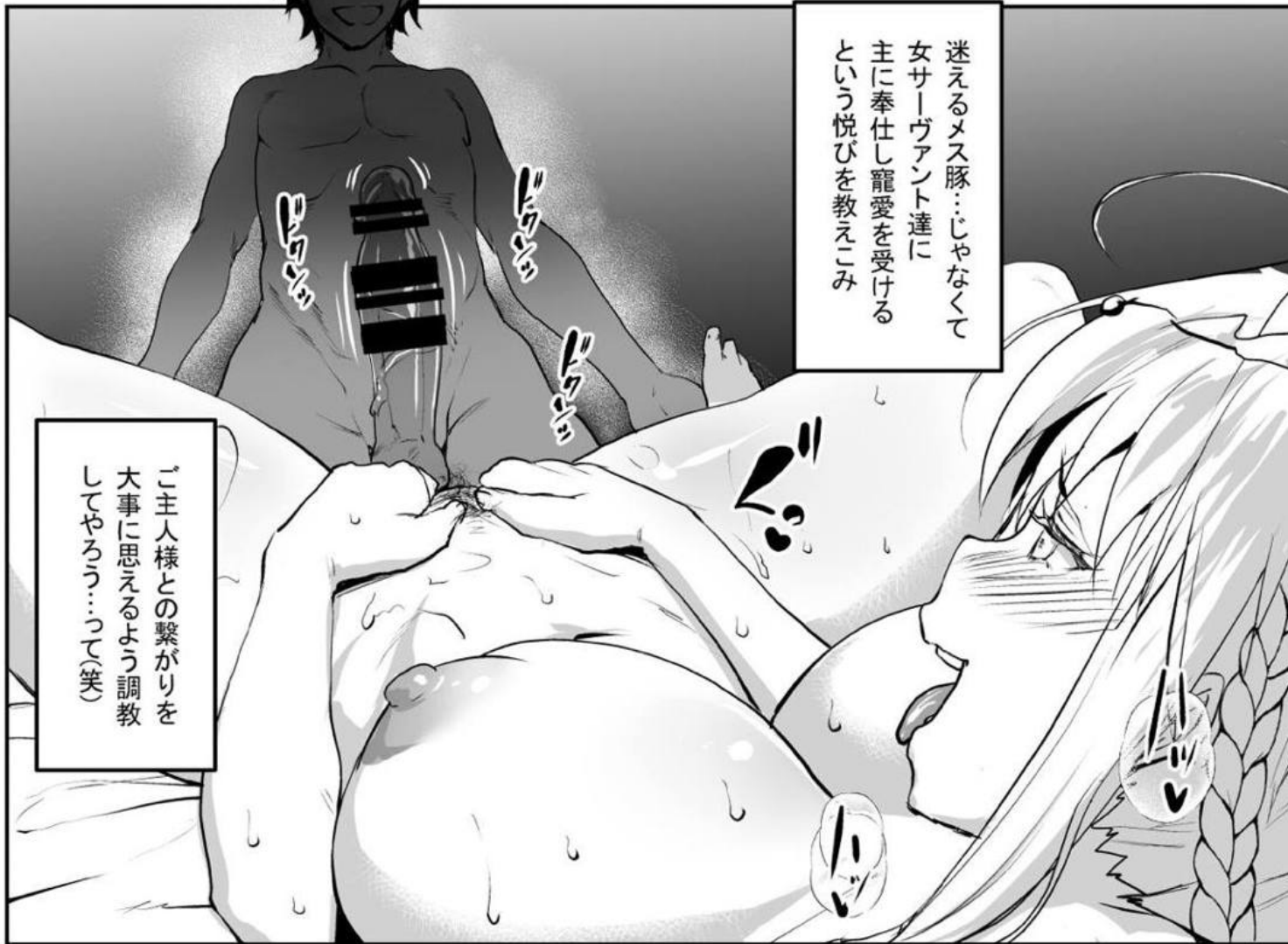
令呪が切れたら
覚えて…なさい…ッ



そこで俺は思ったんだ

忠義を決め信頼しきった
主の子種を発情した
子宮に注ぎ込んで貰う

そんなメスサバとしての
幸せを知らないなんて
可愛そうすぎる…ってな(笑)



迷えるメス豚…じゃなくて
女サーヴァント達に
主に奉仕し寵愛を受ける
という悦びを教えこみ

ご主人様との繋がりを
大事に思えるよう調教
してやろう…って(笑)



そうと決めたら
早速行動する
ことにした

ターゲットは最大まで能力を
引き上げられた
愛されジャンヌにした

まずは令呪を使い
催眠状態にする

俺のことをマスターだと…
そして自分が最近の一番の
お気に入りサバなのだ
思い込ませた

…マスター…その…
何か…ご用ですか…?

その上でそんなお気に入り
にしか与えられない
最上のご褒美—



期待の現れかジャンヌは
これからの事を想像するか
のように勃起した俺のモノを
横目で見つめ続けてきやがった

するどどうだ…

お気に入りサバはマスターに
妊娠する程強く可愛がられる…
そう教え込んだ

コイツもまた、多分に漏れず
大事に大事に処女を貫いて
いたようだが

そんな聖女も今…
期待でどうしようもなく
発情しているのだ

ジャンヌ

な—
なんでしよう…?

ふんふん

マスターとしてしっかり
答えてやらないとな…くっ

服を脱いで
ベッドに横になれ

……
わかり…ました…

秩序であり聖女でもある
この女も好きな男のちんぽで
孕ませて貰いたいという
欲求を持っているのだ

で…ですがマスター…?
こ…こういうことは節度を
持ってお互いの気持ちを
確かめあうように…
ですね……

御高説を垂れながら
流れるように服を
脱いでいく聖女様

だがこれだけでは俺は
面白くない

そう—
もう一つ…この遊びを
楽しむ為の仕掛けがあるのだ

いいですか
マスター…?

私以外でこんな事をしては
決していけないんですからね♥

ギョギョ

私達サーヴァントは
妊娠なんてしないと
思いますが……

生ちんぽハメてヨガらせて
いいのは私だけですよっ
それをキモに命じて下さい♥

さあ……わかったら早く
マスターのおちんぽさんを…
私のヒクヒクおまんこに
ぶ…ぶち込んで下さい…っ♥

ああ…私ったら…
マスターを興奮させる為とはいえ
なんてはしたない言葉を…っ♥

これが
二個目の令呪

秘部を頭にした時
自身が知る知識全てをもつて
眼の前のちんぽを満足させる
そういうように行動する事

くくくつ
生娘の思考と淫乱卑猥な
行動とが擦り合わされていく
様を楽しませて貰おうか

帰らせる度に記憶はリセットしたが
繰り返し繰り返し続けることで
徐々に身体に快楽を覚え込ませていった

ああ…嘘
どっして
どっしてなの…っ

はげ
激しっ♡

しゅー♡
激しすぎてパンパン
おと音なっちゃますっ♡♡

ちんぽ…っ♡

おちんぽお…っ♡

私は処女…
処女の筈なのに…
痛みがない…?!

それどころかどうして…っ
どうしてこんな
気持ちいいの…っ♡

マスターのおちんぽ…っ
私の子宮まで
届いていますっ♡♡

それに伴うジャンヌの
変化は明らかだった

出してーっ♡
私の奥にマスターの
精液射精して下さい♡♡♡

イクーッ♡
またイッひやうう♡♡

次第に上がっていく感度に
つられるように
もっとイキたい：
もっと子宮に精液注いで
貰いたいというおねだりを
するようになっていった



ああ…
ダメ…ツ♥
ダメですマスターツ♥
ソコばかり擦られては
イクの…止まら

頭の中…どンドン
真っ白になっていく…♥

知識からすれば
酷く乱暴に扱われている
筈なのに…どうして…♥

そんな…っ
そんなに無遠慮に
子宮ごちゅごちゅ
叩かれたら私の…
私の子宮壊れひゃ

ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ

くくくく
それがイイからだろう
このメス豚がっ

やはあん♥
そんな…
そんなこととは…ツッ♥♥

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

お前はマゾだっ
マゾなんだ

人に虐げられて喜ぶ
変態なんだよジャンヌ

いやそつちっ
その証拠にマンコはどんどん
締まっていつてるぞ

ああ…嘘
でも…でも

確かに酷いこと
言われる度に
背中がゾクゾクして

オラ…イケッ
イツちまえツ
苛められて
悦びイけえええツツ

は…はい…ッ
はいっ♥
イクっ
イキますッ♥

ジャンヌは苛められて
イッちゃうどすけべ
聖女です♡♡♡

私は変態どすけべ
M聖女なんだわ…♡♡

この瞬間
ジャンヌは自らの存在を
マスターの精液便所として
認識したろう

そこからは少し
令呪の内容を変えた

全てを忘れるのではなく
夢でマスターと性行為を
楽しんでしまっている

そういう覚え方をさせる
ことにした

……また……
見てしまった……

これはやはり……
私の内なる欲望
なのでしょう……

でもマスターにはこんな事……
話せるわけが……

そして調教は仕上げの
段階へと移行する

ほらジャンヌ
お前の愛しい
おちんぼ様を
奉仕するんだ

んむううう

ふ……ふあい……♡

ちんぽ……♡
おちんぽご奉仕させて
頂きまふううう♡♡♡

マスターのおちんぼ様
精一杯ご奉仕させていたらき
まひゅううう♡♡♡

俺好みのエロテクを教え込み
うまく出来たらガンガンに
イカせるといって褒美を
与えるてやった

ああそつだ
いざジャンヌ

俺のちんぼの形を
しっかり記憶する
ように奉仕しろ

これがお前を快樂へと導き
幸せにしてくれるちんぼ
なんだからな

その甲斐あって
ジャンヌはみるみる内に
従順なメス犬と化した

うまいぞジャンヌ
お前は最高のメス犬
になるな

あはっ♡

ありがひよう
こひやいまさっ♡♡



ちんぽ
マスターの
おちんぽお♡♡

ジャンヌは…
ジャンヌはご主人ひやまの
おちんぽにご奉仕できへ
幸せなメス犬サーヴァントれすう♡♡



おいひれすう♡



マスターの
カウパーおちんぽ
おいひいでふうう♡♡



くくく
心からの叫びって感じだな
どうやらもう二画目の
令呪は必要さそうだ

んぶっ♡♡♡

マスターのぶっ太い
カチカチちゃんぽ
子宮ではつきり
感じますうっ♡

マスター♡♡

愛しています
マスター♡♡♡

ジャンヌのどすけべ
おまんこでどうにか
気持ちよくなつて
くだひゃい♡♡



あは♡

キノコ
キノコ

ますたあ♡♡
ますたアあッ♡♡

ジャンヌのおまんこ
気持ちいいれすかあ♡♡♡

射精ひて
戴けまふか？♡

ああ
いぞ

ごんごんジャンヌ

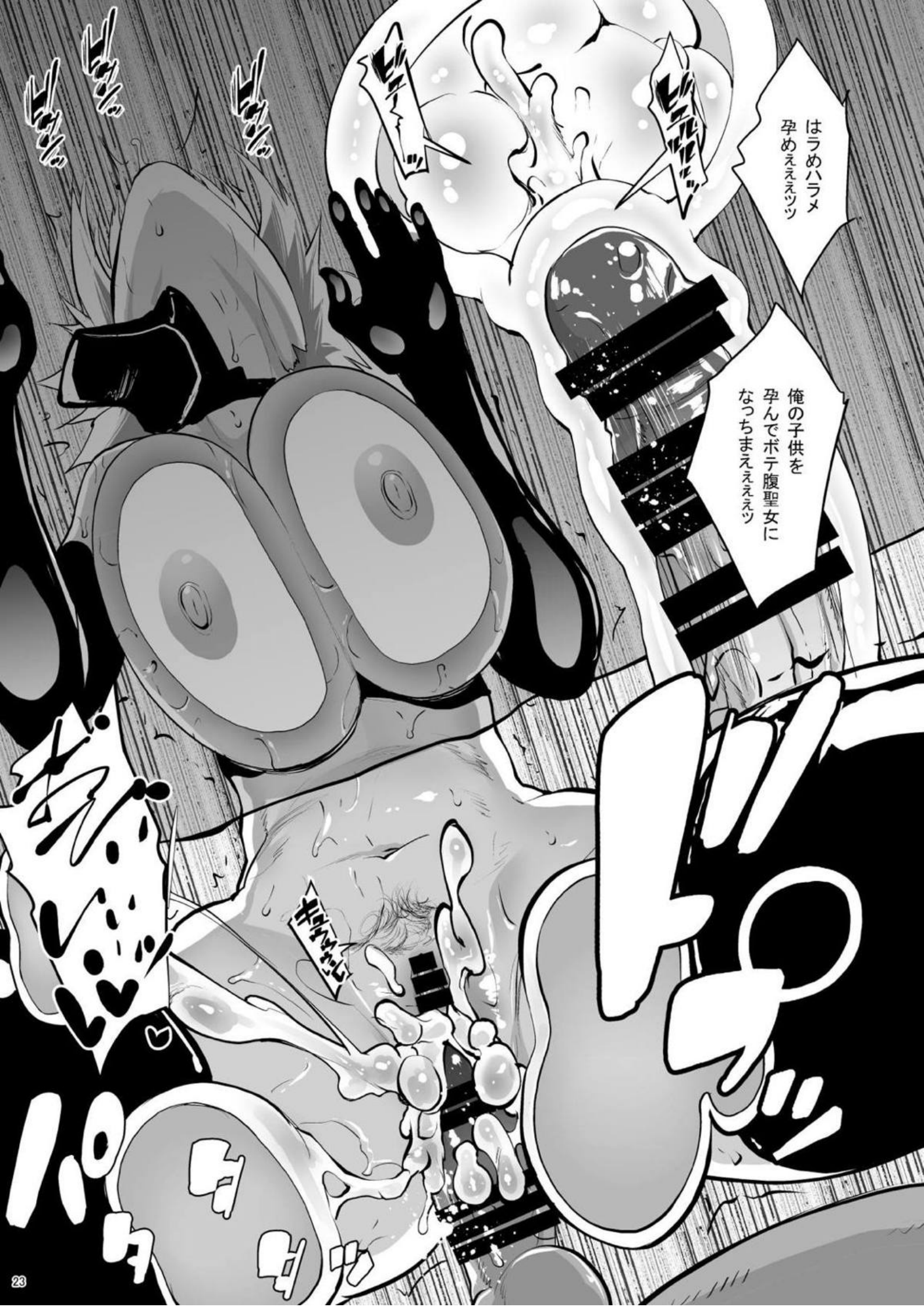
出してやるっ

お前の愛するマスターの
ザーメンを子宮にたっぷり
注いでやるぞおオツ

あはああっ♡

きてええ——っ♡
きてくだひやい——っ♡♡

ありったけの愛情ザーメン
ジャンヌの子供袋にぶち込んで
私を妊娠させてえええ♡♡♡



はらめハラメ
孕めえええッ

俺の子供を
孕んでポテ腹聖女に
なっちまえええッ

ハハハハハ



さあ……調教は
ここまでだ

最高の表情
じゃないか
ジャンヌ



だが安心していいぞ
ジャンヌ♥

ここからが本当の
お楽しみなんだから



まったく
お前のマスターは
ほんとと酷い奴だよ

こんなに幸せそうな表情
すらまともに引き出して
くれなかったんだからなあ



くくっ
それじゃあ
最後の命令だ

令呪を持って命ず

**記憶を保持したまま自分のカルデアへと帰り
本当のマスターとのSEXを楽しめ**

後書き

お疲れ様でした。
今回のお話、如何でしたでしょうか。

令呪は本来ここまで万能でもないとは思いますが
そこはそれ、エロ漫画は破綻してるのも強みですからな。
けど他人の所有物に強制命令出来る、それを考えるだけで
ご飯ならぬ絶頂三回はイケるよね。

さて、終わりまで見て気になった方もいるとは思いますが
この話、キリがいいとこまで切っています。
ここで完結も出来ますし続けることも出来る状態ですね。
今回の話までは軽度の寝取り。
けどこれ以上続けるなら完全な寝取りになる話に
なっています。

ただ描くかどうかはちょっとわかりません。
皆さんの反応とモチベーション次第と言っておきます。

それでは今回はこの辺で
ご購入ありがとうございました。
また次回の本もお楽しみに！！

あ、最近pixivFANBOX始めましたので良ければ支援
お願いいたします。
また、感想&応援メッセージもお待ちしていますm(_ _)m

奥付

発行 : 七つの鍵穴
発行人 : 七鍵智志
発行日 : 2018/08/12
印刷 : トム出版 様

連絡先 : codemasa7@hotmail.com
pixiv : 30395
Twitter : nanakagisatosi



Comic Market 94

Sapohhame Jeanne

Hypnotism rape the character of others.

許可の転載、再発行、無断複製を一切禁止します。
No reproduction or republication without written permission.
Twitter : @nanakagisatosi / Youtube ch : <https://www.youtube.com/channel/UC3AdnqVzghn5HkWEiFYEGaw>